

一生勉強、一生青春  
—これからの社会で求められる能力とは—

東京都立南葛飾高等学校出張授業資料



2021年3月23日(火)

10:30~11:30

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 好きなことばはありますか。もしあれば、自己紹介代わりに教えてください。

A : あります。たくさんあります。

- (1) 「ブルドッグ魂」(食いついたら離すな) \* 中学の担任、岡田忠治先生
- (2) 「練習で泣いて、試合で笑え」 \* 中学の柔道部長、椎名弘先生
- (3) 「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心に、ものごとと取り組む)  
\* 足利高校、マラソン大会の合言葉
- (4) 「練習は、不可能を可能にする」 \* 慶應義塾塾長、小泉信三先生
- (5) 「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」 \* 経営学者、ドラッカー先生
- (6) 「会った人は、皆、友達」 \* 京都一燈園、石川洋先生
- (7) 「目には見えぬが、心は近い」 \* インドのことわざ
- (8) 「一生勉強、一生青春」 \* 書家、相田みつを先生
- (9) 「価値・意味・秩序」 \* 東京大学、松永澄夫先生
  - ①ものごとの価値(大切さ)を知る。
  - ②その意味を考え、意味付けを行う。
  - ③やること、やらないことを自己決定。秩序ある行動を目指す。
- (10) 「離見の見(りけんのけん)」(舞台上で舞っている自分を、離れた観客席から見る)  
\* 世阿弥(ぜあみ)先生



<質問1>

みなさんには好きなことばがありますか。あったら、一つだけ書いて、教えてください。

Q 2 : 今の社会、これからの社会は、どのような社会ですか。社会人として求められる能力は、どのようなものですか。

A : (1) 「知識基盤社会」(知識が基盤となった社会)

\* 「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」

- ①スマホ、タブレット、パソコンは必須です。
- ②数学と理科(生物・化学・物理・地学)、美術、音楽の高1～高3レベルの基礎知識は必須です。
- ③目指すべきは、DS(デジタル・サイエンティスト)

(2) 「グローバル社会」

\* 「多様な集団で交流する能力」

- ①英語、国語(現代国語・古文・漢文)、社会(地理・歴史・倫理・政治経済・現代社会)、家庭、保健・体育の高1～高3レベルの基礎知識は必須です。
- ②特に、日本語や英語、外国語によるコミュニケーション能力は必須です。
- ③読解力(様々な文章や情報を読み解く力)も欠かせません。「読んでわからないことは、聞いてもわからない」



### (3) 「課題山積社会」

＊「自律的に行動する能力」

①課題を発見して原因を推定し、応急処置、システム改革、仕組みづくり。「課題解決」能力を身に着けること。

②教科以外の教育活動（学校行事・部活動・生徒会活動・クラス活動・修学旅行・文化祭・体育祭など）に積極参加が役に立ちます。

③課題発見には、「現実を直視すること」と「新聞を毎日読むこと」が欠かせません。

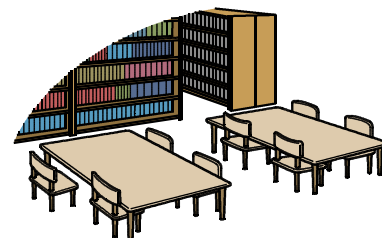
・「質のよい TV・ラジオ番組の聴視・聴取」

・「インターネットによる情報収集」

・「図書館の活用」

なども有効です。

＊「図書館」を使いこなすのは最重要の能力です。



### <質問2>

みなさんは、高校の図書館や公立図書館に、週何回行きますか。

---

Q 3 : 社会人として求められること、社会人としての心構えは何ですか。

A : (1) 「自分のことは自分ですること」

①「自己責任」

②「自助努力」

③「自分の未来は自分で切り開く」

④「諦（あきら）めたらおしまい」

⑤「If you can dream, you can do it!」

＊もし、あなたが夢を見ることができれば、あなたはそれをする事ができる。

(2) 「結果を出すこと」

①「仕事の上で結果を出す」ためには、お客様の役に立たなければなりません。「仕事」とは、「お客様の問題解決」という結果を出すこと。

②そのためには、お客様の問題とは何かを考え、解決する方法として「製品」や「サービス」を提供することが求められます。

③同じような問題を抱えているお客様が、世の中にはたくさんいます。そこで、「仕事をする」とは、目の前の「お客様のお役に立つこと」であると同時に、「社会のお役に立つこと」だといえます。

＊「約束を守る」「約束の 5 分前に到着する」「報告・連絡・相談をする」で、「信頼関係を構築」する。

(3) 「国内外の競争に打ち勝つこと」

①仕事には、国内だけでなく海外にも強力な競争相手がいます。

②また、時代は激しく変化し続けます。



③激しい競争に打ち勝ち、激しい変化に対応する「競争力」を身に着けること。

<ご参考>

①重要なのは、「イノベーション」です。様々なものを新たに組み合わせ（新結合）、今までにないものを創り出し、当たり前のように人々が用いるのが「イノベーション」。イノベーションを行うのが「イノベーター」、「企業家」。

②事業を新しく起こすのが「起業」。成功して軌道に乗れば「イノベーション」。「起業家」も、成功すれば「イノベーター」。

<質問3>

身近な「イノベーション」は何ですか。「イノベーター」として知っている人の名前を、1人書いてください。

---

Q4：仕事で得られる充実感とは何ですか。

A：（1）製品やサービスを提供することで、お客様が困っていることや問題解決のお役に立ててよかったと実感することが、時々ではありますが、あることです。

（2）同じような問題を抱えているお客様が、世の中にはたくさんいらっしゃいますので、「世の中のお役に立ててよかった」と、時々ではありますが、実感することです。

（3）仕事や社会的な活動を通して、多くの先輩、同僚、後輩の方々と接することができることです。同業他社、異業種の方々とも交流できることです。色々な場所で活動する機会もあり、見識を広めることができます。

（4）仕事を通して、自分自身の「潜在能力」を自分自身で発見し、仕事の場で伸ばすことができることです。

（5）仕事や活動のリーダー、組織の責任者としてチームを引っ張り、目的や目標を達成に導くことができることです。



<質問4>

みなさんは、リーダーとはどのような人だとお考えですか。下線部に書いてみてください。

---

---

（6）会社や組織、地域や社会の歴史の形成に貢献することができることです。

Q 5 : 学生時代に身に付けておくべきことは何ですか。

A : (1) 学校で学ぶすべての教科の内容は、社会に出てすべて役に立ちます。しっかり理解した上で、定期試験などを活用して正確に身に付けてくださいね。

\* 学校の教科書や教材、授業ノートは決して処分しない。一生、手元に保存し、授業を思い出しながら繰り返し読み続ける。

(2) 社会に出てからも、学ばなければならないことは山ほどあります。「勉強の仕方」と「試験の受け方」も身に付けておいてください。

\* 「仕事は、メモで身に着ける」といわれます。授業ノートの取り方、ノート整理の仕方、ノートを活用しての知識の身に着け方も、学校時代に身に付けてください

(3) 様々な文章や情報を正確に読み解く力「読解力」を身に着けること。「読解力」を身に着けるのに、「辞書・新聞・本格的な読書」が欠かせません。

① 「辞書」の使い方を身に着けること。

\* 意味のわからないことばがあったら、「気持ちが悪い」と考え、辞書を用いて調べること。語句の意味をノートやカードに書き写し、繰り返し読み直し、語句の読み方と意味を身に着けること。

\* 一つの仕事には、ふつう 1000 語以上の専門用語があります。それら一つ一つ正確に理解して身に着け、定着させ、仕事や社会的な活動で使いこなすことが、社会人として欠かせません。

\* 「ことばは力」「語彙数は力」です。

\* 図書館を活用する。

② 「新聞」を、毎日一面からなめるように読むこと。

\* 新聞を読み、「自分で考える力」「批判的思考（クリティカル・シンキング）能力」を身に着ける。

\* 「スクラップブック」に気になる記事を保存し、繰り返し読み直す。

③ 「本格的な読書」で「思慮深さ」を身に着けること。

\* 教科書や先生に紹介していただいた本を中心に、じっくりと腰を落ち着けて「著者との時空を超えた対話」を行う。

\* 「書き抜き読書ノート」に気に入った文章を書き抜き、一生を通して繰り返し読む。

\* 図書館を活用する。



Q 6 : たくさんありますね。このほかにもありますか。

A : まだまだたくさんあります。

(1) 「5S(5 エス)」です。

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| ① 「整理 (seiri)」    | いらぬものは捨てる  |
| ② 「清掃 (seisou)」   | きれいに掃除をする  |
| ③ 「整頓 (seiton)」   | ものは同じ場所に置く |
| ④ 「清潔 (seiketsu)」 | ①～③を継続する   |
| ⑤ 「躰 (shitsuke)」  | 自分から進んで行く  |



(2) 別な意味の「躰」(しつけ)

- ①「美しい立ち居振る舞い」
- ②「美しいことば遣い」(敬語表現を含むことば遣い)
- ③元気なあいさつ

(3) 「学力」

①「学力」とは

- ・「主体的に学ぶ力」
- ・「自分から進んで学ぶ力」
- ・「自己学習能力」



②このような意味の「学力」を身に着けると、

- ・「多様な選択肢のある人生を歩む」ことができます。
- ・「正常に機能する社会の形成に貢献する」ことができます。

Q 7 : 最後にひとことどうぞ。

<最後に質問です>

(1) <質問5>

みなさんの人生の目的は何ですか。何のために生きると考えますか。

---

(2) <質問6>

みなさんは、高校、大学、短期大学、専門学校などの学校を卒業後、何がしたいですか。

①みなさんがやりたい仕事は何ですか。どのような仕事に興味・関心がありますか。

---

②みなさんがやりたい社会的な活動は何ですか。

---

③みなさんは、どのように生きたいとお考えですか。

---

(3) <質問7>

みなさんは、高校を卒業後、どのような進路をとろうとお考えですか。

①何のために、どこの大学・短期大学・専門学校・専修学校に進学するのですか。進学目的、第一希望校は何ですか

---

②就職する場合、どのような理由で、どこに就職したいですか。

---

(4) 〈質問8〉

①最近、一番感動したことは何ですか。

---

②これから先、1年半の高校生活で一番したいことは何ですか。

---

〈最後のひとこと〉

- (1) 健康や事故などに注意さえすれば、「人生は長い」ですから、あまり焦ることなく、じっくりお過ごしください。
- (2) ただし、「この学校で、この教科のこの内容を勉強できるのは、この学校に在学中だけ」と考え、「自覚」をしっかりとって学んでください。
- (3) 家族のよいところ、友だちのよいところ、学校のよいところ、葛飾区のよいところ、東京都のよいところ、日本のよいところ、アジアのよいところをたくさん探して、ほめ、励ます。そして何よりも、自分のよいところもたくさん探し、自分の潜在能力を、少しずつでも、どんどん伸ばして行ってください。

以上

ご清聴を感謝いたします。  
ありがとうございました。

